

平成25年度「みんなの審査会」～市民参加型事業評価～審査結果詳細

事業番号	4-③	事業名	東吉野キャンプ場運営事業			
所管	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成	課

【事業内容】					
・サマーシーズン中に常設テントを設置しキャンプ場を開設 ・一年を通じた豊かな自然環境の中での野外体験活動の場を市民に提供					
総コスト(千円)	(平成24年度決算額)	6,845千円	(平成25年度予算額)	6,851千円	

【市民審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】					
＜市民審査員＞			＜検討委員(参考意見)＞		
今後の方向性	事業の方向性	拡充	3	2	3
		現状維持	2	2	
		縮小			
		廃止	1		
			ゼロ	縮小	現状維持
公金投入の方向性			公金投入の方向性		

【今後の方向性】《事業の方向性—公金投入の方向性》を選択した理由

《拡充—縮小》

- ・まず堺市内の子ども会全体に認知してもらえるように広報活動等を行っていただきたいです。やる限りは全力を尽くしていただきたい。そうでないなら廃止すべき
- ・PRの見直し
- ・青少年育成に必要な施設であれば、活用していく方が必要だと思います。ただし、数年収支バランスが取れていない事業に対して公金投入は現実的でないと考えます。まずは限られた公金で最大限のPRが有意ではないかと思ひます。

《拡充—現状維持》

- ・利用促進のPRにつきます。また、施設・設備の拡充を図る時期では？
- ・現在の公金を最大限生かして利用者の増加をめざす。
- ・創意工夫で効果的な事業を展開できると考えた
- ・事業の意義はわかるし重要だと思う
- ・日高に比べて施設規模が小さいので事業拡大策が必要(ふるさと村以外の提携も検討の要あり)
- ・ある意味、成果があがれば、安い負担金とも言えると思う。

《拡充—拡大》

- ・事業を始めたらそれから生れたデータの分析をし、必ず成功数字になっているのかどうかを吟味する。事業は成功する以外なにもない。
- ・子供の自主性独立心をやしなう 自分で考え動く力をやしなう
- ・施設を拡大する

《現状維持—縮小》

- ・周知、広報、利用者数の向上を行った方がいいが、事業の方向性は「現状維持」とする。
- ・負担金は、東吉野村と話をしてもらって少し効率化できる余地あると思うので「縮小」とする。難しいかもしれませんが…
- ・公金投入の方向性を縮小した方がいいのは、PRを通じてもっと施設を利用する人が増えれば縮小させることが可能だと思うからです。
- ・利用率に比較してコストがかかりすぎ 事業については必要と考える(東吉野村との提携も含めて)
- ・現状の利用者数を前提にすると年間650万円の投入は十分正当化されないのではないかと。東吉野村との友好促進といった別の事業目的も含めて根拠づけをする方が適切であると思われる。

《現状維持—現状維持》

- ・現有資産のもとで、稼働率アップを検討することが当面の目標と考えます。収入増の具体的裏付けがないにもかかわらず、設備拡張・更新することには反対します。

《廃止—ゼロ》

- ・余りにも利用率が低い

【改善策について】(複数回答あり)		市民審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	8	4
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	5	1
	関連事業とのあり方について見直しが必要(統合や再編を含めたあり方等)	4	1
	サービス受給者の負担(受益者負担)について見直しが必要	2	0
	市以外からの財源の確保について見直しが必要	2	0
	担い手のあり方について見直しが必要	3	0
	その他	3	1
【具体的な改善策提案】※【今後の方向性】で選択した《事業の方向性—公金投入の方向性》ごとに記載			
<p>《拡充—縮小》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査会があるから何か考えなければおっしゃっていて、何のためにやっているのか不信感を抱きました。効果が出る出ないは、やってみなければ分からないので、色々な取り組み方があると思います。</li> <li>・①ターゲットを広げる！②サマーシーズン以外もPRをする！③パンフレットの内容の見直し。</li> <li>・市民に認識してもらうことが最優先かつ効率的な手段だと思えます。施設を維持するのであれば、利用者数を増やすしかないので、すべきことは明確だと思えます。PR方法への公金投入など注力すべき視点を変えて欲しいです。</li> </ul> <p>《拡充—現状維持》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場のウリを明確にできるように 堺市独自のキャンプ場案内作成 B5 観音折仕様等</li> <li>・広報の改善</li> <li>・民間事業者、市民団体とのコラボレーションを行う</li> <li>・指定管理との連携を強化(ハード改善、運営方法について—)</li> <li>・子供の自主性・役割行動を実践する場としての必要性があがっていたが、実は親に求められている事でもある。親子キャンプをNPO等と連携して事業化する。(青少年活動を行っている団体の課題としてもあがっているが、解決方法として親に自然の良さを知ってもらう事が必要である。)</li> <li>・広報 PR 活動の拡充</li> </ul> <p>《拡充—拡大》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析の拡大 ターゲットをしぼる 広報を考える</li> <li>・テントを増す</li> </ul> <p>《現状維持—縮小》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの施設の効果的なPRが必要</li> <li>・キャンプ場について、初心者が使いやすいような工夫をすべき</li> <li>・利用傾向を把握し、効果的な利用者数向上を考えるべき</li> <li>・せっかく良い施設・事業なのに人に知られてない現状がとてももったいないです。私も存在を知っていれば利用しました。</li> <li>・行って何ができるのかのPRが必要</li> <li>・日高に比べて知名度が低いのでその原因分析対策する</li> <li>・東吉野村との提携は必要なので費用は別途検討</li> <li>・団体利用についても、家族での利用についても、利用条件やプログラム、モデルプランの提示など、利用を検討する者にとって検討しやすい情報提供が必要。ソフト面や販促面での民間活力や(企業/NPO)を生かすべきではないか。</li> <li>・PR方法の検討要</li> </ul> <p>《現状維持—現状維持》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の強化(Web、地域フリーペーパー等)</li> </ul>			
【自由記入欄】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会や他部局との連携も含めて自然の良さをどうアピールできるか。</li> <li>・環境面と協力することもありではないか？</li> <li>・他都市との横ならびではないが、堺市はキャンプ場を所有していない事の代替案とも考えられるが、堺市民が多く利用すればメリットは高い。</li> <li>・今年度における改善策としてあげられている事を実行される事を期待しています。</li> <li>・かつて浜寺キャンプ場でやっていた青少年リーダー育成キャンプを考えてみてはどうですか</li> </ul>			